

令和7年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会 第2回幹事会

- 日時:令和7年12月24日(水)14:00~16:00
- 場所:四日市商工会議所3階大会議室(オンライン併用)
- 出席者(敬称略)

(有識者)

東京大学 大学院 工学系研究科 教授 村山顕人
名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 松本幸正(オンライン)
早稲田大学 理工学術院 教授 有賀隆(オンライン)

(交通関係者)

近畿日本鉄道(株) 鉄道本部 名古屋統括部 施設部 工務課 主査 牧野修幸(代理、オンライン)
三重交通(株) 企画部 部長 小瀬古恵則(代理)
三岐鉄道(株) 自動車部 運行管理課 課長 伊藤眞郷
(三重県タクシー協会北勢支部・支部長代理)(株)三交タクシー 代表取締役社長 内山宣哉

(商工関係者・大規模権利者・事業展開企業)

四日市商工会議所 専務理事 山下二三夫
近鉄グループホールディングス(株) 総合政策本部 事業推進部 部長 赤井智明
近鉄グループホールディングス(株) 総合政策本部 経営企画部 課長 森有一郎(随行、オンライン)
近鉄グループホールディングス(株) 総合政策本部 経営企画部 係長 坂井厚太(随行、オンライン)
近鉄不動産(株) 名古屋事業本部 賃貸事業部 部長 吉田健(オンライン)
(株)シー・ティー・ワイ 取締役 営業部 兼 お客様センター部 部長 伊藤秀明
(株)シー・ティー・ワイ 営業部 次長 山本龍太郎(随行)
(株)三十三銀行 営業本部営業企画部 上席主任 三浦大樹(代理、オンライン)

(行政)

三重県 県土整備部 都市政策課 副課長 雲匡司(オンライン)
三重県 県土整備部 都市政策課 市街地整備班 主幹兼係長 上田雅章(随行、オンライン)
四日市市 副市長 荒木秀訓

(賛助会員)

(株)日建設計 都市社会基盤部門シビルグループ 部長 中村出
(株)日建設計 都市社会基盤部門シビルグループ アソシエイト 河野正雄(随行、オンライン)
(株)日建設計 都市社会基盤部門シビルグループ アソシエイト 豊島香須弥(随行、オンライン)
(株)マクニカ 官公ソリューション推進室 部長 福田泰之(オンライン)
(株)マクニカ CPSソリューション開発部 課長 高綱浩仲(随行、オンライン)
(株)マクニカ CPSソリューション開発部 担当 矢部維(随行、オンライン)
(株)マクニカ 官公ソリューション推進室 担当 奈良岡龍一(随行)

(オブザーバー)

国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官 高濱康亘(オンライン)
国土交通省 都市局 街路交通施設課 課長補佐 渡邊枢(随行、オンライン)
国土交通省 都市局 街路交通施設課 二輪駐車場係長 村川達郎(随行、オンライン)
国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 係長 横林哲也(オンライン)
国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長 後藤直紀(オンライン)
国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長補佐 加藤練志(随行、オンライン)
国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課 専門官 田中秀和(代理、オンライン)
国土交通省 中部運輸局 三重運輸支局 企画調整担当 係員 松田蒼生(代理)

■ 次第

1. 開会

2. 議題

- ・議題 第1号 今年度のスケジュールについて
- ・議題 第2号 令和7年度スマートシティ実装化支援事業の進捗報告
- ・議題 第3号 ワーキンググループ(WG)の実施報告

3. 閉会

■ 内容

【1.開会】

<進行>

本日はお忙しい中ご出席頂きましてありがとうございます。ただ今から「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」の令和7年度第2回幹事会を開会いたします。本日の会議を進行させて頂きます、四日市市政策推進部の中尾と申します。よろしくお願ひいたします。はじめに、お手元の資料をご確認ください。全部で5種類の資料と2種類の別添資料をお配りしています。過不足ありましたら、挙手にてお知らせください。

それでは、会議の開催にあたりまして、本協議会の会長であります荒木副市長より一言ご挨拶をさせて頂きます。

<荒木副市長>

皆さん、本日はお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。本協議会の会長を務めさせて頂いております四日市市の副市長の荒木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。四日市スマートリージョン・コア推進協議会の幹事会は、今年度としては2回目、通算では14回目の開催です。本日はご案内の議事次第のとおり、今年度のスケジュール、スマートシティ実装化支援事業の進捗報告のほか、データプラットフォームワーキング、モビリティワーキング、それぞれからご報告を頂く予定です。

さて、本市が進めております中央通り再編事業では、本事業を象徴する近鉄四日市駅東側の円形デッキが、12月20日に供用を開始いたしました。円形デッキの愛称には、1万件を超える多くの方から応募を頂き、「よんまるテラス」に決定させて頂きました。これから四日市の顔として皆様に親しまれ、街を眺める視点場や待ち合わせ場所としてご活用頂けるものと考えております。また、中央通り再編事業に合わせて取り組みを進めてきましたスマート化も、AIカメラ、環境センサなどのスマートインフラから取得したデータの可視化、四日市版MaaS、沿道空間利用マネジメントシステムや、デジタルインフラ台帳のデータ構築につきまして、いよいよ実装の形が出来上がってまいりました。今年度は国土交通省様より支援頂いているスマートシティ実装化支援事業の最終年度です。また、四日市スマートリージョン・コア実行計画も、策定から4年目を迎え、来年度が計画期間の最終年度です。中央通り再編事業の整備が完了する令和9年度から各種取り組みの実装、本格運用の開始を目標としており、今後は、各種事業を適切に維持するとともに、どのように展開させていくかという段階に移行致します。今後も本市のスマートシティ実現に向け、引き続き皆様と共に取り組みを進めていきたく、本日も皆様と忌憚のない意見交換をさせて頂ければと考えております。簡単ではございますが、開会にあたりまして、私の挨拶とさせて頂きます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

<進行>

ありがとうございました。

続きまして、本来であればご出席の委員・企業・団体の皆様のご紹介をさせて頂きたいところではございますが、時間の関係もございますので、別添の出席者名簿に換えさせて頂きます。

【2.議事】

<進行>

本日の議題は、議題1:今年度のスケジュール、議題2:スマートシティ実装化支援事業の進捗報告、議題3:ワーキンググループの実施報告の3項目を予定しております。

ご質問やご意見を頂戴する時間は、議題ごとに適宜設けさせて頂きます。

一点お願ひでございますが、皆様ご発言頂く際にはマイクのスイッチをオンにして頂き、ご発言が終わりましたらオフにして頂きますようご協力をお願ひいたします。

それでは、これ以降の進行につきましては村山座長にお願いしたいと思います。村山座長、よろしくお願ひいたします。

<村山座長>

承知いたしました。皆さんこんにちは。今日もよろしくお願ひ致します。まず初めの議題は、令和7年度のスケジュールの確認です。詳細のご説明は日建設計総合研究所様よりお願ひいたします。

<日建設計総合研究所>

資料1に基づいて説明

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。スケジュールについてご意見やご質問のある方は、挙手のうえご発言願いたいと思います。

ご質問等無いようですので、次に進みたいと思います。

次の議題は、「実装化支援事業の進捗」についての報告になります。詳細は日建設計総合研究所様よりお願ひいたします。

<日建設計総合研究所>

資料2に基づいて説明

(デジタルインフラ台帳に係る動画部分は日建設計が説明)

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。

スマートシティ実装化支援事業の進捗についてご意見やご質問がある方は、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

私から一点質問してよろしいでしょうか。(資料2の7ページ)「事業① 利活用空間活性化ツールの構築」におけるマネタイズ検討の部分ですが、行政のヒアリング先は都市計画、交通、道路管理関連部署と、比較的建築土木系の部署ですが、他の部署へは聞かなくてよいでしょうか。例えば、防災関連や環境関連の部署や、あるいは、健康や保健など、いろいろな部署と関係があるのではないかと思いますが、今後の予定や可能性も含めて、よろしくお願ひします。

<日建設計総合研究所>

現時点の計画として基盤整備が先行していることから、そういった部署におけるニーズがメインになっていますが、おっしゃるように、もう少し幅広い部署での活用が考えられると思います。今後、府内で関係ありそうな部署を対象として、データのアピールも含めて意見交換の機会を作つていければと思います。

<四日市市 政策推進課>

まずは土木系、都市計画系の部分で検討させて頂きましたが、今日は環境部局や危機管理部局も出席しておりますので、先生におっしゃって頂いたように、いろいろな可能性について、我々の取り組みを改めて府内に周知し、府内展開を図っていきます。

<村山座長>

どうもありがとうございます。今マネタイズのことが大きな課題なので、どちらかというと民間の方にヒアリングを行っていますが、一方でこれは公共インフラでもあり、行政の中で公共サービスとして関連させて使える部分もかなりあるのではないかと思いますので是非ご検討の方よろしくお願ひします。他にいかがでしょうか。

続きまして、ワーキンググループの実施状況に関するご報告です。前回の幹事会以降に各ワーキングで実施された内容を報告して頂きたいと思います。それぞれのワーキングの代表企業様からご説明頂こうと思

いますので、初めにデータプラットフォームワーキングの代表であるシー・ティー・ワイ様からお願いいいたします。

<シー・ティー・ワイ>

資料3に基づいて説明

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。続きまして、モビリティワーキングの代表でありますマクニカ様からご説明をお願いいたします。

<マクニカ>

資料4に基づいて説明

<村山座長>

ご説明ありがとうございました。2つのワーキングの実施状況について、ご意見やご質問がある方は挙手にてご発言頂ければと思います。いかがでしょうか。

それではまだ時間がありますので、全体を通して、ご質問やご意見を頂きたいと思いますが、せっかくお集まりなので、一人ずつご発言をお願いできればと考えております。まず会場にいらっしゃいます、三重交通様からお願いしてよろしいでしょうか。順番に回していきたいと思います。

<三重交通>

三重交通の小瀬古です。私どもはモビリティWGを中心に参加させて頂いており、今までに自動運転とMaaSの関係で、四日市市役所さんとマクニカさんを中心にいろいろ情報共有をして頂いている状況です。私どもの持っているものと上手く連携を頂くのも私どもとしては大歓迎な部分もございますし、またこういったダッシュボード等々、どうやったら上手く四日市市の課題が解決できるのかというところもまたワーキング等で知恵を絞りながら意見が出せたらと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいいたします。ありがとうございました。

<村山座長>

ありがとうございます。三岐鉄道の伊藤様、お願ひします。

<三岐鉄道>

三岐鉄道の伊藤です。私どもも三重交通さんと同様、現在モビリティWGを中心に、自動運転の監視の方も積極的に参加させてもらっております。令和8年度以降もまたいろいろ何かやっていこうと期待をしておりますので、今後ともよろしくお願いいいたします。

<村山座長>

ありがとうございます。三重タクシー協会の内山様、よろしくお願ひします。

<三重タクシー協会>

三重タクシー協会の内山です。タクシー協会からということはないのですが、先ほどもご報告頂いておりました、EVO3の車両による実証実験に、先般参加させて頂きました。将来的に公園の整備がされるというような説明を聞かせて頂きながら参加した感想として、時速18kmという非常に低速ではありますが、プライスレスな時間といいますか、会議の場で報告を受けるだけでは感じることのできない、楽しみというか、そこに集う市民の方々の姿が想像できるような体験ができたことが非常に良かったかなと思います。当然未だ工事をしている中ではありましたが、将来的にそこで集う人たち、街の賑わい、そういったことを当日案内

頂いた市の職員の方、また事業者の方、こういった方のお話を聞きながら、その時間が価値あるもので、個人的にはその後とても気持ちよく仕事ができました。ありがとうございました。

<村山座長>

ありがとうございます。四日市商工会議所の山下様、お願ひします。

<四日市商工会議所>

四日市商工会議所の山下でございます。このデータ見せて頂いて、非常に将来楽しみだなと思うのですが、また報告書ができてから、どういった順序といいますか、どういったものを優先的にやっていくとか計画や予算などについてはどういう流れで進んでいくのか、という点を教えてもらえばと思います。

<村山座長>

ありがとうございます。ご質問がありましたので、事務局から、特に来年度以降の体制や予算など進め方について今お考えのことがあればよろしくお願ひします。

<荒木副市長>

四日市市でございます。今山下様が言われたように、ハード面については、ほぼ出来上がっており、歩きたくなるまち、公共交通を活用できるまちに一歩近づいたという思いを持ってございます。冒頭挨拶しましたように今後の維持をどうしていくか、あるいはサービスをどう発展させていくかというようなことは、計画自体が来年度までですので、その計画期間内で将来の方向性が見える形にできればと思っております。従いまして第3回幹事会までには、ある一定の整理を行い、それを反映した形で計画を取りまとめて実施していきたいと思っております。

<村山座長>

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

<四日市商工会議所>

期待しております。

<村山座長>

ぜひよろしくお願ひいたします。それでは近鉄グループホールディングスの赤井様、お願ひ致します。

<近鉄グループホールディングス>

近鉄グループホールディングスの赤井でございます。弊社で11月21日に異動がございまして、これまで切中が出席させて頂いていたのですが、今後私が参加させて頂きます。よろしくお願ひいたします。初めてということもあり、いろいろお話をうかがっておりまして、弊社グループも鉄道、ホテル、百貨店と、市の中心でいろいろと事業をさせて頂いている中で、四日市の中心に人が集まつくるような施策に対しては非常に期待しております。実は私も1年前まで、2年半ほど四日市の元町に住んでおりましたが、非常にコンパクトで住みやすい街だと感じましたので、こういった取組もどんどん外へ発信をして、我々もぜひご協力させて頂きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

<村山座長>

ありがとうございます。それではシー・ティー・ワイの伊藤様、お願ひします。

<シー・ティー・ワイ>

私も今回異動の関係で初めて参加させてもらいましたシー・ティー・ワイの伊藤と申します。弊社の方も、データ

プラットフォームワーキングの方で関わらせて頂いておりますが、資料の報告にもあったワークショップの色々な課題というところで、やはり市民の方が有効に使ってもらう空間であることがマストですので、ワークショップに参加してもらった地域の方に加えて、今後バスタや公共交通機関で四日市に来られた方がどういうイメージや印象をもたれたか、逆に他の地域で感じていることなども吸い上げられるような形で、市民だけではなく近隣の方からも「四日市ってさすがやな」と言われるようなまちづくりに貢献できればと思っております。今後とも努力していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

＜村山座長＞

ありがとうございます。それでは、賛助会員の日建設計の中村様、お願いします。

＜日建設計＞

ありがとうございます。先ほどデジタルインフラ台帳の動画を見て頂きました。今年度3月から、埋設物事業者さん限定ではありますが実装される予定です。それまでに円滑な運用が実現できるようなマニュアル・ガイドラインの整備をしていくことと、限られた利用者ではありますがデータの公開に向けて合意形成もしっかりと形にしていきたいということで、持続可能なものになるようにしっかりと引き続き取り組んでいきたいと思います。また、来年度以降も引き続き整備の方は進めていくということで四日市市様と調整しておりますので、これで終わりではなく今後も頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

＜村山座長＞

ありがとうございます。続きまして、オンラインの皆様にご発言頂きたいと思います。それでは近鉄不動産の吉田様お願い致します。

＜近鉄不動産＞

近鉄不動産吉田でございます。先週円形デッキが完成して、ハード面では目に見える形で整備が進んでいますが、ソフトの面でもこういう形で進めておられて、特にデジタルインフラ台帳は行政の皆様やインフラ会社さんが先ずは使うということになると思いますが、将来的に我々デベロッパーやゼネコンにも資するようなものに整備して頂ければありがたいと思います。以上でございます。

＜村山座長＞

ありがとうございます。続きまして、三十三銀行の三浦様、お願いします。

＜三十三銀行＞

三十三銀行三浦でございます。本日のご報告を拝聴させて頂きました、スマートシティ実装化支援事業が着実に進んでいることが実感できたということと、改めて当行としても四日市に本店を構える金融機関として、地元の事業者様や市民の皆様の利便性向上に向けた情報発信やデータ活用のビジネスモデルの検討など、金融機関ならではの視点で貢献できる余地があるのではないかと考えておりますので、引き続き皆様と連携しながら四日市を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

＜村山座長＞

どうもありがとうございます。それでは最後に三重県県土整備部の雲様、お願ひします。

＜三重県県土整備部＞

三重県の雲でございます。聞きそびれた部分がありまして一点ご質問ですけれども、利活用空間活性化ツールのところの災害時情報発信の部分ですが、大津波警報やミサイル発射情報が出ている時にデジタルサイネージから音などが出るのか、教えて頂ければと思いました。あと、感想になりますが、モビリティのところで私も12月上旬に自動運転バスに乗らせて頂きまして、違和感なくすごくスムーズに乗れました。途中で止まっていたトラックを避ける時に自動なのか手動なのか、後で見ましたら車内にランプの色によって自動か手動か分かるという説明表示があり、見つければよかったのですが分からないまま終わってしまいまして、ちょっと緊

張していたのかなとも思いました。ただ、すごく違和感なく乗れましたので、本当にこういったものが定着して当たり前のようにやってくるといいなと思いました。

＜村山座長＞

ありがとうございます。ご質問頂きました、デジタルサイネージの災害時の音についてはいかがでしょうか。

＜シー・ティー・ワイ＞

ご質問ありがとうございます。当然音も必要かと思っておりますので、どんな音かは考えないといけませんが、アナウンスが流れるような形を考えております。

＜村山座長＞

どうもありがとうございます。

それではここで進行を事務局へお返しいたします。議事進行にご協力頂きましてありがとうございます。

＜進行＞

村山座長ありがとうございます。それでは、全体を通してご参加頂いております先生方から改めてコメントを頂ければと思います。それでは最初に松本先生からお願ひできますでしょうか。

＜松本先生＞

ご報告、いろいろご説明ありがとうございました。今年度、国からの補助事業としては最終ということで、その中でまだいろんな取り組みをして頂けるということで楽しみにしております。一方で、大きな取り組みというのはなかなか難しいと思う中で、いかに周知していくかは非常に重要と思っています。もう年末になっていますが、年度末に向けて最後の最後、しっかりと皆さんに周知頂く、特に市民の方々に使って頂きこの便利さを体感してもらうのは非常に重要だと思っていますので、マスコミに宣伝してもらうとか、取材してもらうとか、今から新しいイベントもなかなか難しいかもしませんが、ぜひ最後に何か花火を上げて、周知、体感してもらうということをやってもらうといいかなと思っています。

今、ご説明頂いている間にデジタルマップを拝見させてもらいました。これは、いいですね。こういったものも、今のうちに市民の方々、あるいは来訪者の方々にご利用頂くといいと思っています。ただ、いくつか分かりにくい点や、まだ工夫しないといけない点もあると思っていますので、いろんな方々のご意見を聞きながら改善していくと、もっといいものに育っていくだろうという気がしております。そして、ちょっとお願ひですが、少なくとも「よんまるテラス」は描いてほしいと思うんですが、形さえもなくて、これはさすがに寂しいという気がしますので、「よんまるテラス」はイラストも含めて描いてほしいという気がしております。それから、やはり今の特に若い人たちはインスタで慣れていて、写真を見慣れているというのもありますので、そういう意味では写真をたくさん出して頂きながら、「よんまるテラス」のベンチからの風景とか、「よんまるテラス」にベンチがあるということも含めて載せてもらうと、いろんなところからこんなのあるんだ、行ってみようかということになって、より多くの人たちに興味を持ってもらえるのではと思いました。二点目ですが、中央通りの西街区はもうできまして、これから東側もできてきますが、植栽にかなり力を入れています。ある意味、町なかの植物園みたいな側面はありますので、植栽図鑑なのかカタログなのかわかりませんが、どこにどんな植栽があるという情報もデジタルマップに載っていたらいいなと思います。本当に緑をきれいにしっかり計画して植栽していると思いますので、写真も含めて載せてもらうと、もっと多くの方々に興味持ってもらえるのではないかという気がしました。デジタルマップについては他にも言いたいことはありますが、もう細かいことなのでこの辺にしておきます。

MaaSの取り組みも大変期待しております。一方で、最後にもありました三重交通アプリとの連携はやはり重要だと思います。この四日市のためだけにアプリを作るというのはなかなか現実的ではないので、やはり三重交通アプリとの連携というのは不可欠だと思います。先ほど三重交通さんからもどうやったら

連携できるか探っていきたいということでしたので、やはりそこを具体的に検討頂いて、三重交通、三重県全体で使う中で、四日市でもいろんな便利なことが体験できる、そんな方向にしてもらうといいなと思っております。今年度残りわずかですが、ぜひより多くの方々に体験頂きながら、そして期待してもらえるような、そんな取り組みになればと思っております。以上でございます。

<進行>

松本先生ありがとうございました。次に有賀先生、コメントをお願いいたします。

<有賀先生>

早稲田の有賀です。先ほどの実装化支援事業の進捗の部分で今年度が最終年度というご説明がありました。その中でも、資料2の54ページの沿道空間利活用マネジメントシステムのスライドにおいて、左側に使ってほしい空間として公共空間、オープンスペース、民地の空き空間等があって、右側に使いたい人、すなわちイベント事業者や商業事業者さんが描かれています。この3年間の実装化支援事業の中では一つずつきちんと形となる成果を出していくことが大事なので、こういった整理・枠組みを使って実装化へ向けたシステム構築をしていますが、本来は、まちなか全体が中央通りのハード整備と共に、沿道の既成市街地側も含めて、まさに官民共同で公共空間も民間の空間もシームレスに賑わいが生まれ出されていくのが究極の将来像だと思います。そこに向かっていく次の第二段階目の取り組みが、恐らくこのシステム構築の先に必要となってきます。例えば、従来の不動産の賃貸の仕組みと何が変わってくるのか、あるいは、公共・民間所有のいろいろな低未利用空間の利活用のアイデアが出てきたときに、それらをどのようにシームレスにつなげていくのか。利用したい人として、今はイベント事業者さんや商業事業者さんという、比較的事前にニーズをお持ちの方が想定されていますが、将来的には、例えば沿道で図書館ができたりJR四日市駅の方で大学が誘致された場合に、小さなグループ、個人などもっとポテンシャルを持った利用者の方々が、街なかの公共空間も含めて使えるようにサポート、支援するようなソフト、アプリなどが求められるだろうと思っています。先ほど商工会議所の山下さんからもご発言がありましたら、実装化支援事業、それから今年度のスマートリージョン・コアの様々なワーキングの取り組みというものは、形としてきちんと出していくことがとても大事なのでそこは実装するのですが、その先の段階における方向性、方法論みたいなものを少しずつ共有化して、次につなげていく必要があると思います。そして荒木副市長も発言されたように、今年度の成果を踏まえながら、来年度、このスマートリージョン・コアの取り組みを収斂させていくということなので、ぜひそこを意識しながら次に繋げていくための検討、それから実装化支援事業の結果を反映していく仕組みを作っていければと思っています。

<進行>

有賀先生ありがとうございました。最後に村山先生、コメントお願い致します。

<村山座長>

ありがとうございます。四日市のスマートシティの取り組みは、他の都市と比べてユニークな点が一つあると思います。それは単にスマート技術や、スマートなシステム、あるいはデータを導入するだけではなく、同時に中央通りの物理的な空間を抜本的に変えているという点です。これは日本国内のいろんな都市の参考になると同時に、海外の新興国にも実は参考になっています。先日JICAで講演する機会があり、とてもいい事例なので紹介したのですが大変興味を持って頂いて、結果的にはフィリピンで台風が起きた関係で来られなかつたのですが、大勢のJICAの研修生が四日市に視察に来るという企画まであったぐらいです。この事例は今後国内外にどんどん発信していかなければと思います。

それに関連して、まずモビリティについて、先週私も自動運転バスに乗せて頂きまして、先ほど内山さんがおっしゃったようにプライスレスな経験というか18キロというやや中途半端にも見える速度ですけれども、歩くよりも速いし、普通に車に乗るよりは遅くて、逆に街の様子をゆっくり見ることができる、変わりつつある中央通りの様子を見ることができるわけで、これが完成してもっと素晴らしい空間になった時に、とてもいい乗り物だ

なと思いました。それから、去年までは片側二車線でしたので路上駐車などがあつてなかなか完全自動運転にはできなかつたという話ですが、現在は片側一車線になつたお陰でそついた問題がなくなり、ハードの整備とスマート技術の導入が上手くできつたことに嬉しく思ひました。そついた意味で、スマート技術の導入だけではなく物理的な空間を変えているというところが、やはり大事だと思います。

二つ目は、データプラットフォームの方で、私も大学関係者としてヒアリングを受けたのですが、これだけたくさんセンサを導入してモニタリングしているところはあまり他に聞いたことがありませんで、我々研究者としても様々なデータを使わせて頂きたいという思いがあります。私自身は気候変動関係の研究をしていますので、環境センサから得られるデータというのはとても貴重だと思っていますし、交通系あるいは都市デザインの分野で様々な公共空間の利活用を考えられている方にとってはAIカメラのデータは大変貴重だと思います。恐らく、我々がここで考えている以上の可能性があるので、是非そういう研究者や学会等とも連携して、新しい使い方や様々なビジュアライゼーションの方法などについて、どんどん研究を続けていくといいなと思いました。そういう意味で、先端を走っている事例ですので、これからも自信を持って進めて頂ければと思います。

<進行>

村山座長、ありがとうございました。本日は皆様から忌憚のないご意見を頂きまして、誠にありがとうございました。本日頂きましたご意見を踏まえ、スマート化の取り組みをしっかりと進めていきたいと思います。

以上をもちまして、令和7年度第2回幹事会を閉会とさせて頂きます。なお、第3回の幹事会は、3月30日(月)10:30~12:00を予定しております。詳細につきましては、改めて事務局よりご案内させて頂きますので、よろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

以上